

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態		
実践看護学演習	1	後期	2	演習 60時間		
担当教員	栗栖千幸、大野知代、田中美恵子、岡本明美、中島洋一					
授業概要	健康問題をもつ人と家族への看護実践の質向上をめざし、医療・福祉機関・事業所の学習者(職員)または看護教育機関にての学習者(学生)の教育・研修ニーズを包括的にアセスメントし、教育・研修計画を立案・実施・評価する。					
到達目標	1. 医療・福祉機関又は看護教育機関における対象者の学習ニーズを把握する。 2. 学習ニーズに応じた教育・研修計画を立案・実施・評価する。 3. 看護支援の質向上に向けた教育・研修について討議する。					
履修条件						
授業計画	回	内容	担当教員			
	1	講義：医療・福祉・教育機関の学習ニーズ	栗栖			
	2	講義：教育・研修形態、技法、教材	栗栖			
	3	講義：教育・研修の評価	栗栖			
	4	演習：教育・研修準備の補助	栗栖・大野・田中 岡本・中島 (学生の選択領域 において各領域の 担当教員が実施する)			
	5	演習：教育・研修実施の見学				
	6-9	演習：学習ニーズの把握・分析				
	10-11	演習：教育・研修計画立案				
	12-13	演習：教育・研修実施準備(教材作成など)				
	14-15	演習：教育・研修の模擬実施				
	16-17	演習：教育・研修の模擬実施の評価				
	18-19	演習：教育・研修計画の修正と準備				
	20-21	演習：教育・研修の実施				
	22-23	演習：教育・研修の評価				
	24-25	発表準備				
26-28	発表：医療・福祉・教育機関における教育・研修					
29-30	討議：健康問題をもつ人と家族への看護実践の質向上に向けた教育・研修					
教科書	なし					
参考書	演習内容に応じ、文献・資料を紹介する。					
評価方法・基準	学習ニーズ把握・分析(30%)、教育・研修計画立案・実施・評価(50%)、発表・討議への取り組み状況(20%)で評価する。					
事前・事後学習	事前に、実践看護学特論で修得した知識を復習し、担当教員と演習を行う機関・事業所における対象者を相談しておく。					
備考	特になし					